



English News Letter

MJG Primary School vol.3 2019/Mar/22

2学期からの TOPICS

学習発表会の幕間にレシテーション発表を導入したのは、初めての試みでした。今回のように、校内でのレシテーション発表会を行うことによって、お子さまがご家庭で一生懸命練習して本番に臨むまでの過程を共有していただけたのではないのでしょうか。代表になった児童は、多くの保護者様の前で緊張しながらも発表し、貴重な経験へとつながったはず。今回、選ばれなかった児童も、目標に向かって頑張ることを体験したでしょう。「来年は、私（僕）が頑張る！」という力強い言葉も聞くことができ、大変うれしく思っています。来年も継続して行いますのでご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。



11月から導入した『Learning Zone』ですが、アプリの活用を習慣づけるために、毎日の宿題としていました。最初は、子どもたちから「何を言っているかわからない！」「何書いているかわからない…」と言う声があがっていましたが、1月末頃には「あっ！その本は、もうみました。その本にはこんなこと書いていましたよ！次の課題は何ですか？」など、前向きな声になっていました。継続は力なりです。英語の学習を日常化していくことが大切だと考えています。高学年も、家庭学習で使ってみてくださいね。（来年は授業で使います。）クイズもありますので、保護者の方々もよろしければ、挑戦してみてください。



英検の合格発表の次の日、「先生！見事 英検2級に合格しました！」と、ニコニコ顔で合格を報告に来てくれた6年生。旧担任は、がっちりと児童と握手を交わし、「おめでとう！」と健闘をたたえました。

来年度も続いて、たくさんの児童が英検に挑戦し、合格することを願っています。



MJG English 新たなる3つの挑戦



11月6日（火）に行われた『校外英語レシテーション大会』へスタッフとして村松・千葉・丹澤の3人で行って来ました。出場していた児童たちの発表は、素晴らしく、日頃の英語学習や、家庭学習など、一生懸命練習してきた成果を感じることが出来ました。

挑戦1：来年は箕面自由学園も出場したいと考えています。今年度行った校内でのレシテーション発表会（全員参

加）を選考会として、代表者が校外の大会へと出場していく予定です。来年度も9月ごろに校内レシテーション発表会を開催しますので、子どもたちには目標を持って、日々の学習に励んでもらいたいと思っています。

挑戦2：来年度は教科書が変わります。変更にもとないペンマンシップ（アルファベットの練習帳）も箕面自由学園小学校オリジナルにします（全学年で使用）！現在使用しているノートは、そのまま使用してください。買い替える場合は必ず8段のノートを用意してください。持ち物は、教科書・ノート・英語ファイル（中身を空にしてください）です。

挑戦3：『世界に発信できる力を身につける！』

日本文化を学び・理解し、海外からのお客様が来られた時や、オーストラリア体験学校などで発表（紹介）する機会を設けたいと考えています。

つぶやき…

『英語を子どもに教えるな！』

この本の題名を見ると、「えっ！？英語は子どもの頃から学んではいけないの？」と聞こえますが、ポイントは『英語への偏り』ということです。ここ数年“将来、英語は必要不可欠”という言葉、耳にする場面が多くなってきました。それに連れて、英語教育への興味関心が非常に高くなっています。しかし、忘れてはいけないのが母国語（日本語）の習得です。母国語と英語が両輪で育たなければ、ただのコミュニケーションツールでしかありません。思考をめぐらせ伝えたいことを的確に伝える力が必要です。2020年のオリンピック開催に向けて、翻訳機は更には進化されることでしょう。そんなとき、翻訳機では、まかなうことのできない日本語独特の言い回し方などを上手に英語で発信することができたなら…また、日本の伝統文化を英語で伝えることができたなら…きっと『国際社会人』として、社会から必要とされる人材になることでしょう。2019年度から、英語の時間が増加しますが、今まで以上に授業の充実を図りたいと思っています。

